UENO Toshihiko; uenot_gosudarstvo@yahoo.co.jp; http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html

レポート課題およびグループワークについて

1.「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」グループ分け

学生番号順に A〜H グループに分かれます。グループ分けの詳細は、LOYOLA の授業掲示板を参照してください。

2. レポート課題

2.1. 提出期限

5 月 23 日（月）「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」の授業時

2.2. テーマ

以下のテーマに関する文献資料を 1 つ（必要に応じて複数）取り上げ、その全体または取り上げる部分の概要を紹介した上で、それに対するコメントを書く。文献資料には、著書、論文、評論、新聞・雑誌等の記事、公文書・歴史史料（国際条約、国際機関・政府等の宣言・共同宣言、公刊された日記、回想録等）、公式発言（政治家・外交官等の演説・発言等）が含まれる。紙媒体のほか、Web 上で公開されているものでもよい。文献資料の言語は日本語、英語、ロシア語のいずれかとする。

A グループ：「ロシアと〇〇〇との関係について」
（〇〇〇には、ロシア・ユーラシア（旧ソ連）地域以外のヨーロッパ諸国、米国、カナダのうちのいずれか 1 ヵ国、または複数国家もしくはそれらの国家を主たる加盟国とする国際機構、たとえば EU、NATO などが入る）

B グループ：「ロシアと〇〇〇との関係について」
（〇〇〇には、ロシア・ユーラシア（旧ソ連）地域以外のヨーロッパ諸国、米国、カナダを除くいずれか 1 ヵ国、または複数国家もしくはそれらの国家を主たる加盟国とする国際機構、たとえば CIS、ASEAN などが入る）

C グループ：「現代ロシアの〇〇〇について」
（〇〇〇には、人権、自由、マイノリティー問題など、政治と民主主義の問題に関連することがらのいずれか 1 つ、または複数が入る）

D グループ：「現代ロシアの〇〇〇について」
（〇〇〇には、環境保護、教育、ジェンダー、貧困、格差、自殺など、社会問題に関連することがらのいずれか 1 つ、または複数が入る）

E グループ：「日本におけるロシアについて」
（「ロシア」のあとに、「の企業」、「の文化」、「のイメージ」などの言葉が入ってもよい）

F グループ：「ロシアにおける日本について」
（「日本」のあとに、「の企業」、「の文化」、「のイメージ」などの言葉が入ってもよい）

G グループ：「日露友好のエピソードについて」

H グループ：「日露平和条約問題について」または「北方領土問題について」

2.3. 執筆要領

(1)体裁

①A4 用紙にワープロ横書きとする。A4 用紙は、1 ページ 40 字×40 行とする。

②使用言語は日本語とする。ただし、固有名詞など、一部分に英語またはロシア語を使用するのはかまわない。

③1 ページ目の 1 行目に、課題名、学生番号、名前を書く。

④概要紹介部分は A4 用紙 1〜2 ページ、コメント部分は 1〜2 ページとし、最小で 2 ページ、最大で 4 ページとする。コメント部分は 1200〜3200 字とする。

⑤概要紹介部分には、評論、新聞・雑誌等の記事、公文書・歴史史料、公式発言などで短いものは現物のコピーを貼り付けてもよいが、その場合でも、概要紹介は必ず書く。

⑥必ず左上をステープラーで綴じる。

⑦グループワーク用に、手元にコピーを 1 部残す。

(2)出典

使用した文献資料については、以下のことを明記すること。いずれの場合も、Web 上で閲覧した場合には、アドレスを明記すること。

①著書：著者名、書名、出版社名、出版年

②論文：著者名、表題、掲載紙誌名、巻号、発行年月

③評論、新聞・雑誌の記事：筆者名（わかる範囲で）、表題または見出し、掲載紙誌名、発行年月日（わかる範囲で）

④公文書：タイトル、出典

⑤公式発言：発言者名、発言年月日（わかる範囲で）、出典

⑥歴史史料：タイトル、出典

3. グループワーク

5 月 23 日（月）および 5 月 30 日（月）の「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」の授業時に、各人のレポートを持ち寄り、それぞれ 45 分ずつ、2 回のグループワーク（各人の発表、質疑応答、ディスカッション、とりまとめ作業）を実施し、その成果を 6 月 6 日（月）の「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」の授業時に各グループ代表者（各グループで互選）が 5 分ずつ発表する。質疑応答の時間を含めて各グループの持ち時間は 10 分とする。

以上